夕刊 常磐毎日

発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210番 編集兼印刷発行人 吉田甫

お食事のデパート 出前迅速 不二屋 電八八六 一七五〇

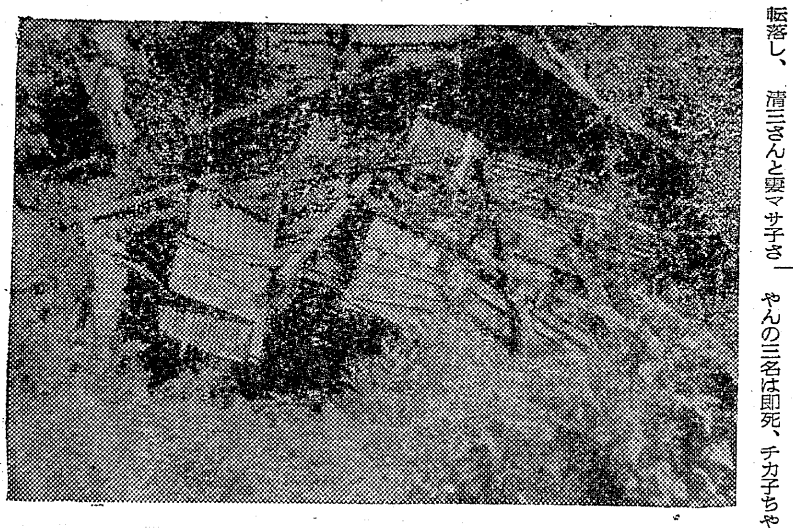
猛り狂った台風十四號

悲惨郡下で六名の死傷者を出す

十八日夜から十九日未明にかけて襲つた、台風十四号は各地に強風を伴つた豪雨をもたらし、このため河川はん乱、道路、堤防、橋梁の決壊流失、家屋、田畑の流失冠水など相ついで起り、好間村ではがけ崩れのため家屋倒壊し親子三名が下敷となつて死亡、バス、鉄道は不通となり、炭砿は一二を除いて殆んど出水のため休山という惨事を残した、石城地方事務所では各地からの報告に基き対策を協議復旧の万全を期すことになつたが被害総額は三億円とみられている。

最もひどかつたのは好間村で、浸水家屋一千戸、家屋流失、倒壊八戸、死者三名、橋梁流失五ツ、冠水水田二百町歩、畑百町歩、役場は床上一尺も浸水したこのため中学校は臨時休校、同村では十九日午後六時から緊急村会を招集、県民生部の八木沼主事を加えて、対策を協議、復旧救済費の補助を県に陳情した

（写真上はがけ崩れで全壊した旧城跡の家、下は流失した町田橋）



崖崩れ一家が下敷
好間で六名の死傷者出す

十九日午前零時半ころ好間村上好間稲荷原地内古河好間炭砿採炭夫飛田清三さん(三三)方の裏山が突然くづれ出した為同家は約十米下に転落し、清三さんと妻マサ子さん(三八)長女チカ子ちゃん(五つ)、二女和江ちゃん(三つ)の四名は家屋の下敷きで生埋めとなり、清三さん、マサ子さん、和江ちゃんの三名は即死、チカ子ちゃんはフトンにくるまつていた為奇せき的に助かつた、また同村同字菓子製造業白土幸一さん(四〇)の家屋も山崩れのため倒壊、白土さんは背、頭部などに全治一ケ月の重傷を負つた、なお死亡した飛田さんは隣家の同砿採炭夫長谷川利三さん(三二)と二人で自宅付近の排水作業を行つている最中、此の惨事にあつたもので、長谷川さんはくづれ落ちた土砂のため下半身がうづまり付近の人々に助け出されたが腰部に全治二十日間の打撲傷を負い古河炭砿病院に担ぎ込まれた。

被害總額三億圓
浸水家屋など六千余戸

平土監所管内の被害は

▽橋の流失、永戸村中島橋、好間村町田橋、平市谷川瀬新田橋、磐城市弁別中島橋、平市上高久神明橋

▽一部落橋、好間村沢小屋橋、好間村独小内橋、同樋口橋、同今仁井田橋

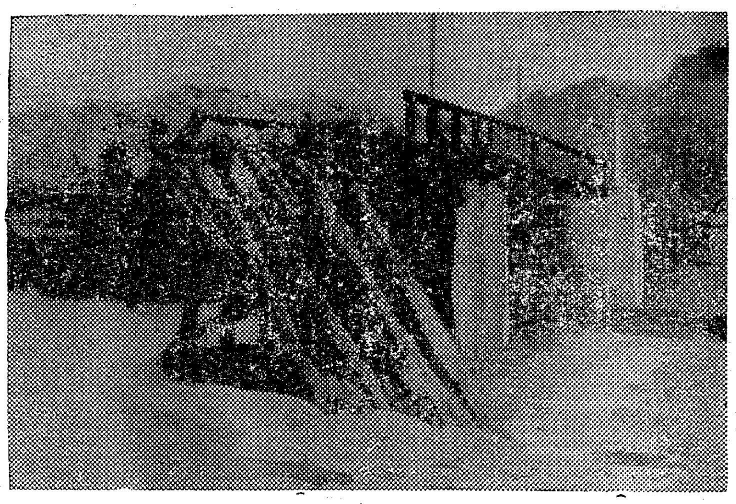
▽河川堤防決壊、赤井村地内茨川二ケ所四百メートル、大野村地内仁井田川九ケ所五百五十メートル、磐城市地内藤原川二ケ所三十メートル、赤井村地内小玉川一ケ所七十メートル、内郷市地内宮川一ケ所二十メートル、常磐市地内湯本川一ケ所二十メートル、磐城市地内矢田川一ケ所三百メートル、大野村玉山地内中島川一ケ所三百メートル

▽土砂くづれ、平、小野新町線平地内一ケ所、小川村（上、下）地内四ケ所、小川郷線赤井村地内一ケ所、新潟平線平地内一ケ所、平小野新町線川前地内一ケ所

▽道路決壊、平、小川線赤井村地内一ケ所、入遠野、小川郷線赤井村地内二ケ所、大野村地内県道一ケ所

▽道路冠水、江名、平線平地内四百メートル、小野新町、内郷線内郷地内三十メートル、四倉、江名線夏井地内九百メートル。

（累計）床上浸水八百五十九戸、床下浸水五千三百七十戸、道路決壊四十九ケ所、堤防決壊六十二ケ所、橋流失六十七ケ所、冠水畑千百二十町歩、同水田千八百四十町歩、家屋倒壊十戸、半壊十二戸。



▼植田土監所調べの被害は

▽植田地内辰ノ口橋三十メートルが流失した他、小橋三十ケ所が流失

▽上遠野村地内県道が百五十メートルにわたつて決壊

▽植田、山田、錦を通る亀川大小八ケ所八十一メートルが決壊、磐城市地内釜戸川二ケ所百三十メートル、川部村地内四時川一ケ所三百メートル

▽植田町地内一ケ所七十メートル護岸、磐城市地内小名浜百二十メートル護岸。

ほとんど休業
坑内出水騒ぎの各炭礦

炭礦関係 十九日午前一時ころ内郷市宮町峯根地内宮川上流の川底が直径十五米にわたつてかん没しこのため同市白水地内に散在している中小炭砿坑内に濁流が流れ込み、同市峯根戸部炭砿では保安要員さえも入坑不可能となつた。

二十日午後二時現在判明した操業不能の炭砿は、（カツコ内は従業員と月産）

▽戸部（四百二十九名、二千百三十トン）▽内郷市魂ケ沢、日東、日高見二炭砿（百十二名、七百トン）、▽同市川平、戸部系山崎炭砿（百三十五名、千百トン）、▽矢の倉、綴伊東坑両炭砿（八十五名六百トン）、▽同市入山東新不動沢両炭砿（百三十名、九百トン）▽入丸炭砿（二百十五名、千六百トン）、▽同市白畑佐々木炭砿（二十六名、百五十トン）、累計十炭砿千百三十名、七千百八十トンの減産となつたほか同市御殿常磐炭砿内郷砿住吉本坑（四千三百八十五名、四万二千百五十トン）にも入水し、同砿の排水坑である二坑が埋没し排水運転不能となつた、此のため常磐炭砿では、緊急対策協議を開き、災害箇所の従業員を鹿島、綴両坑に入坑させることとして、一坑から排水作業を行つているが、住吉本坑の減産を含めると実に五万八十トンの出炭減で、夏がれをのり越えて来た郡下中小炭砿の前途に暗影を投げている。

一町目 質 山田

天氣予報

（明日）南東の風晴たり曇つたりの天気でしよう。（海上）今晩明日共おだやかな日が続きましよう。

売出し盛況御禮

今度の伊東絹子、ファッションショウ御招待大売出しに際し皆様の絶大なる御支援御引立を賜わり厚く御礼申上げます、御陰様で十九日を以つて無事盛況裡に終了致しました事、社長以下従業員一同重ねて御礼申上げます

衣料品のデパート 鈴藤 御得意様各位

明るい教室 充実した設備

十月生徒募集

一、昼間部1本科一年 一、夜間部1本科一年
一、土曜自由科1毎週土曜日午後
一、課外生花手芸科

新しいデザインとカット 親切な指導

入学期日十月五日 願書受付中 お申込は早目に

公認 小松洋裁学院 院長 小松みどり 内郷市金坂通り電（平）一、七四四

休電のお知らせ

毎度格別の御引立を蒙き有難く御礼申上げます さて今般弊社東平変電所（平市谷川瀬）に於ける機器の点検及手入のため左記の通り休電いたしますから御迷惑ながら御了知置き願います

記

一、停電日時
九月二十二日（水）午前八時三十分より午後四時三十分まで

二、停電地区
平市、夏井村、草野村、高久村。豊間町、内郷市（小島、御厩、御台境）赤井村（南赤井、赤井）

昭和二十九年九月十九日

東北電力株式会社 平営業所

御需用各位

ヤマフル醤油 電話……十番 味は断然一番 鹽屋

公売公告

公売財産の表示 滞納者住所氏名

一、家庭用ミシン シンガー 中古品 壱台 磐城市字定西一四 丹野鉄治郎
二、テンラジオ 六球神戸工業製 〃 壱台
三、電話加入権 磐城局一八七番 磐城市字古湊一一二 粟谷寅之助
四、自転車 能沢製 中古品 壱台 磐城市字定西五一 藤堂秀夫
五、事務用机 栗製作 〃 壱個
六、柱時計 精工舎製 中古品 壱個
七、戸棚 横八尺角型 高四、五尺 中古品 壱台
八、両袖付事務机 中古品 壱脚 磐城市字鳳裁八六 江名鉄道株式会社
九、同右附属廻転いす 〃 壱脚
一〇、事務用片袖机 〃 五脚
一一、同右附属廻転いす 〃 五脚
一二、応接用セツト一式 丸テーブル一個 いす三個
一三、電話加入権 磐城局 五三七番 磐城市字諸廻三三 長瀬祐信
一四、自転車 中古品 壱台 磐城市松ノ中一三 小野源太郎
一五、電蓄 五球インタナショナル 中古品 壱台
一六、桐製タンス 二重 〃 壱さお
一七、荷馬車 〃 壱台
一八、チヨダ式ガソリンエンヂン 四拾馬力 壱台 石城郡赤井村高萩字山の内 神山炭砿株式会社
一九、東京自動車KK製作所 まき揚機ロープ付（六分）弐百五拾米 壱台
二〇、六キログラムレール 六拾本
二一、ターピンポンプ 拾馬力 壱台
二二、参インチパイプ 四拾八本
二三、ウインドーケース 中古品 壱個 磐城市字定西一三九 沢井政一
二四、営業用ミシン 〃 壱台
二五、二重三方桐タンス 中古品 一さお
二六、前けやき製整理タンス 〃 壱さお
二七、前黒タン茶タンス 〃 壱さお
二八、五球スーパー 〃 壱台
二九、電話加入権 磐城局 五〇八番
三〇、電話加入権 常磐局 三二〇番 常磐市湯本字栄田 有限会社協栄社印刷所
三一、手フート機 中古品 壱台
三二、事務用片袖机 抽出し五個付 壱個 常磐市三函一〇五 株式会社大和電機商会
三三、接客用長いす ビロード張 壱個
三四、丸テーブル 小型 壱個
三五、いす 背付丸型 弐個
三六、手提金庫 壱個
三七、陳列ケース 三尺×五尺×二尺 中古品 壱個
三八、同右 三尺×三尺×一、五尺 一個
三九、同右 三尺×五尺×一、五尺 壱個
四〇、同右 二尺×五尺×二、五尺 弐個
四一、レヂスター 中型 くにまつ製 壱台

記

右は国税滞納のため前記財産を左記により入札及競売の方法を以て公売するのであるが買受希望の方は現品をよく御覧の上左記事項と入札心得書を御承知の上入札及び競売に参加されたい

一、右の内赤井村神山炭砿株式会社については現地において入札公売とす
二、入札書は九月二十一日午前十時限り公売執行官に差出されたい
三、開札は同日午前十時十分公売場で行う
四、競売は同日午前十時より当署において行う
五、前記財産の内動産は競売、電話加入権は入札とする
六、電話加入権は各市町村役場で行う
七、電話加入権については日本電信電話公社の譲渡承認が得られない場合には売却決定を取消すことがある
八、各保証金不要代金即納とする

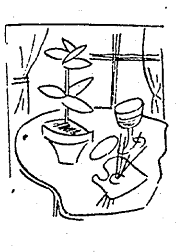
右公告する

昭和二十九年九月二十日

平税務署

〃馬鹿野郎〃事件が生んだ宮様との特別會見記【25】

出しかけ時代の思い出



予定通り国民高等学校並びに農民義勇軍訓練所の視察を、とどこうりなく終つて学校の職員室で共同記者会見となつた、ところが会見を前にしてここでも「馬鹿野郎」が問題になつた、特高課長が〃馬鹿野郎記者は入室させない〃と言い出した、さあ困つた、会見の内容は他社の誰かに後で聞けるが写真はともあれ、会見を禁止されたとあつては、まかり間違えば首である、もうこうなつてはやぶれかぶれ当つてくたけろだと、警察部長に面接、「理由はかくかくだ、宮様を馬鹿呼ばわりした覚えはない、足を踏まれたからこそ奴をどなつたんだ」と弁明これ努めた、警察部長はさきのチヤラ徳事件で恩をきせられてある上に僕の気質をよく知つているので、おだやかに取計らつてくれたい気持が表情や動作に現れているが、部下の特高課長の手前もあり、どうしたものかと裁決をしぶつている様子、これを早くも見てとつた僕は、

〃僕が悪るければ謝る、しかし要は宮様の考え一つだと思う、僕のどなつた理由を宮様に伺いを立て丶宮様が駄目だとおつしやるなら、僕も不敬罪の罰を喜ろこんで受けよう、とに角、宮様に伺つてみてくれ〃

と懇願これ努めた、記者会見の予定時間がそのために遅れたので、随員側からどうしたんだと声がかかつた、双方寄り集つて相談の結果、随行員が伺いをたてみることに決り「かくかくの理由から遅れて申訳ないが、いかゞ取扱うか」と伺いをたてたところ、軍隊で鍛えあげられた宮様だけに、ニコツと笑われて〃面白い男だ、特に会おう、どこの新聞社か?〃

というので晴れて共同会見となつた、

〃ザまあみやがれ、特高のヤツらめ〃

と心のうちで快哉を叫び部長に〃どうも〃と頭をさげて、意気揚々と宮様の前にまかり出た、この時の気持は、新聞記者ならでは味い得ぬスリルである、

〃馬鹿野郎〃というのは、吉田ワンマンより廿年も前に僕が言い放つたわけである、吉田ワンマンの場合は命とり解散となつたが、僕の場合はこれが幸せとなつて、宮家から駅前の写真を奉納をしてくれと懇願されて、差上げたのが縁でたくさんの土産物を賜つた、共同会見のあと僕一人が残されて、色々じよう談も話されたりして、お陰で、このインタービユが翌日の特種となつた、翌朝の新聞は何れも駅頭の写真は横向きのまゝなのに、僕の方だけがステツプに片足をかけられて、こちらを向いておられる活きたポーズの写真であつた、読者からみれば横向きであろうと、正面向きであろうと、さほど気にしながら読む人は少なかろうと思うが、たつた一枚の同じ写真でもこうした苦労が要る。

映畫〃光の歌〃完成

貴重な不自由児らの生活記録

整肢療護園の宿願実る

肢体不自由児の療護施設として東北に唯一つの平市中平窪字古館の福島整肢療護園＝園長大河内一郎氏＝では昭和二十七年十月十二日開園以来、五十四名の園児を育成しているが更にこの不幸な子らに対する社会の人々の暖い協力とうるわしい理解を求めるため園長、専任職員らが中心となつて園児らの療護園生活の実態を映画〃光の歌〃の製作に当つていたが六ケ月間の辛苦も実り去る九月十日完成、十月五日から一週間催される県庁舎落成式の記念行事の一つとして試写、初公開される運びになり関係者を喜ばしている。

（写真は問題の映画の一シーン）

同映画は、不遇な悲しみに明け暮れる三人の肢体不自由児が整肢療護園に入り親身な愛情と熱意ある療護の末、三人ともどうやら歩けるようになり、うれしい微笑みと共に子供達の力強いコーラスが秋の緑深い山々に響き渡る。という筋を以つて同園長が企画、脚本、監督に当つて製作完成したもので十六ミリフイルム使用、全長五千フイート＝編集後三千フイート＝オールトーキーによる映写時間一時間半という文字通り画期的なセミ・ドキユメンタリー映画である撮影には斎藤元巨氏＝平市上荒川＝が担当、三月中旬クランク、イン、春夏秋冬の激しい季節と冷い現実にもめげず六ケ月間の厳しい無経験映画製作の苦脳と斗い九月十日無事クランク、アツプの運びに至つたもので、戦後恋しい親達の手元からスゲなく捨てられた捨児、ほの暗い巷間をさまよう浮浪児などと共に全く顕著な温情にもふれられず忍ぶような後暗い生活を送つてきた。

このシ体不自由児童も発育期にある四才から十七、八才位までのうちなら療護の仕様では将来再建第二の新しい日本を背負う伸び行く青少年に成人するという信念と希望をも裏付けているものである。

録音も東京の電通映画社に依頼、本職の声優によつてトーキー化し、新庁舎落成式、記念の初公開を皮切りに県内各地を巡回、身体障害者の福祉促進運動期間を利用してシ体不自由児童救済資金募集に乗り出すことになるが、平市には同園の二週年記念日に当る来る十月十二日の記念行事と合わせて平市公会堂で地元公開される予定であり、全国にも余り類例のない未経験者企画、脚本、監督の半記録映画の公開とあつて広く一般市民並に地元民の期待と共鳴が注目され絶大な興味と話題を集めている。

鎌倉事務長談

「本当に喜ばしい事実です、とりわけ園長さんの感激は一通りではありません、あの血の出るような苦労と病気になると思われる程の熱心さには心うたれました、この映画で不幸な子らの実生活がいくらかでも広く皆さんに理解していただければ幸せです」

マ杯軟庭大會 平代表決る

第八回マ杯記念都市対抗軟式庭球大会は、来る二十三日から三日間四国松山市営テニスコートで開催することに決つたが、今度の大会に出場する平市代表選挙らは連日猛練習をつづけている。選手名は次の通り。

◇少年磯貝則之長浜重平（磐高）◇少女藤木正子江尻政子（磐女）◇男子小川享高城繁雄（平クラブ）◇女子千葉ハツノ大門セイ（平ク）◇壮年島栄斎藤義男（平ク）監督、根本武雄。

勿來町道起工式

勿来町では十五日午前十時より勿来高校錦線を結ぶ夫婦高下迄の町道幅員十一米長さ一〇五六米に亘る起工式を挙行つた

同町道は工事費一八五万円で高山組が請負明年二月中竣功する

町營住宅十戸 勿来で着工

勿来町では西殿町に町営住宅十戸建築予定の処、山形建設と勿来土建に落札近く着工十二月中完成する。工費一戸三三万六千円で山形建設四戸勿来土建六戸の割で着工する。

磐高、若女勝つ 県下高校バスケット

県籠球協会、県高校体育連盟主催の第九回県下五地区高校籠球大会兼東北高校選手権大会県予選は十八日、十九日の両日平三中並に平商高校体育館で行なわれたが二日目の十九日、第一日目の第一回戦に勝ち残つた昨年度の優勝校女子若女、男子会高他六校が準決勝に進出、午前八時半から熱戦の火ぶたが切られ男子では磐高と平商が地元同志で対戦するなど興味あるふん囲気を盛り上げながら終始手に汗握る観戦のまゝ結局男子では磐高が二十八年度のは者会高を破つて四年越の雪辱を晴らし、女子では昨年度の王若女が後半に強いねばりで見事に功を奏し決勝でダークホース福女を軽く一しう、二連ぱの栄冠を奪いそれぞれ、東北大会に出場することになつた、なお準決勝からの戦績は次の通り。

◇男子高校の部
▼準決勝
会工60―42福高
磐高59―23平商
▼決勝
磐高71―55会工

◇女子高校の部
▼準決勝
若女36―20本宮
福女42―37会女
▼決勝
若女52―33福女

平競輪前節

第六回平競輪の九月初日は小雨降る十七日決行された、当日は台風十二号のあと、再び訪れた十四号のはしりにさえぎられ、二、三日珍らしく晴れ上つた快晴も時折来襲する強雨のために出足をとざされたせいか、客足はまばらだつたが一日目としては走場のコンデシヨンが乱れたと思われ予想外に配当良く小刻みな中穴が二本程飛び出すなど、小雨降るうつとうしい初日をやゝ興奮させ同ファン達の心境をあおつた。

なお総売上額は四百二十三万一千八百円であつたが各穴レース並配当金額は次の通り、▽二レース一五連一、〇七〇円▽三レース三―四連一、七〇〇円▽四レース三―四連二、八二〇円▽八レース五―一連四、一二〇円▽十二レース四―一連二、三七〇円▽十三レース一―二連二、五一〇円。

好間に空巣ねらい横行

好間村上好間地区に最近空巣ねらいがひんぴんと起り、主婦達は〃うつかり買物にも出られない〃とせんせんきようきようとしている

去る十六日午後三時頃から同五時頃までの間に同字郵便局前古河炭砿社宅が数件空巣に荒らされ、同炭砿病院長弘中一雄さん宅では、奥さんが買物に出た留守中合カギを以つて浸入し、室内を物色、オーバー白米等を窃取して、再びカギをかけて逃走したほか、近所の山本さん宅外数件を荒し、何れも時計、衣類など手当り次第盗まれている、更に一週間ほど前は同字上組斎藤茂太郎さん方外二ケ所では、干物、衣類など窃取されており、同じ手口から同一犯人とみて捜査を続ける一方、部落民に対し留守中の戸締り等厳重に警告している。

今週の映画

各館二十一日まで

●世界館　夜の部六、四四　霧の小次郎　暗黒街の脱走　花の白虎隊
●平館　夜の部七、〇五　ブロードウエイの寝室　芸者秀駒　びつくり五十三次
●聚楽館　夜の部六、五五　月あおくして　プラボーとりでの脱出
●民劇　夜の部六、四六　ねちよりんとんの巻　お尋ね者　黒い潮
●ひかり座　夜の部六、四二　平原の勇者　第十一号監房の暴動

平公衆衛生協会　会長　山崎与三郎

食中毒防止週間　期間13日――24日

福島県平保健所　所長　隆　文雄

神谷薬局　平市田町　TEL32

伊勢　松坂牛　ハムと……お惣菜　マル井　平市銀座街電271

瀬尾薬局　平市才槌小路　TEL553

牛豚肉　ハム……ソーセージ　◎各種豊富◎　越 食肉部　平市銀座街 電1,282

關内薬局　平市四町目　TEL40 1940